

【1】新市場販路開拓事業

1 収支決算額

- 収入決算額:50,414,000円
(事業収入5,284,000円、市負担金収入45,130,000円)
- 支出決算額:49,449,619円

2 事業の成果

◆ **受注促進・販路開拓支援事業:** 地域企業への新規受注獲得のため県外企業を訪問し、個々のニーズへのきめ細かな対応を進めた結果、引き合い件数 641 件のうち 58 件(約 9.0%)が成約につながった。特に複数の加工技術を組み合わせた工業製品や輸送機器向けのプレス金型、ギフト品などの案件が成約した。

また、ものづくりの展示会に地域企業と共同出展して加工技術を PR した結果、機械装置部品、医療用品、各種部品加工など継続が見込まれる引き合い案件 31 件(約 11%)が成約した。

◆ **海外販路開拓支援事業:** 地域企業の東南アジアでのビジネスチャンス拡大のため、シンガポール共同事務所の駐在員と連携し、燕三条の金属製品や日本酒、コメなどを現地の高級日本料理店の新店舗向けに納入することができた。また、海外展示会への地域企業との共同出展や JETRO との連携を強化することにより、東南アジア及び欧州での新規受注につながった。

3 実施事業

(1) 受注促進・販路開拓支援事業(担当:企業支援課)

(収入決算額:30,766,000 円、支出決算額:30,405,663 円)

① 地域外企業訪問による受注促進

地域企業への新規受注獲得のため、関東圏を中心に機械装置、環境関連機器、家電、建築資材などのメーカーや商品企画会社を訪問し、燕三条地域のものづくり技術力を PR した。訪問先企業では製品開発や購買部門の責任者等との直接面談により、地域企業への新規受注につながった。

② 地域内企業への情報提供による事業活動の活性化支援

産業振興部の登録企業約 650 社に対し、展示会共同出展募集やセミナー開催案内、受注動向などを FAX で配信した。(リサーチコア通信、全7回発行)

③ 燕三条地域企業が保有する技術情報などを地域外企業へ配信

県外企業の発注担当者(約 1,500 人)に対し、地域企業の加工技術や新製品等の最新情報をメールで配信し、ビジネスマッチングの機会を提供した。これによりメールによる引き合いが増えた。

④ 地域外企業工場訪問による受注促進(新規)

燕三条地域企業で製造や加工が可能な案件を持つ大手・中堅メーカーとの商談会を開催した。

また、先進的研究機関を地域企業と一緒に訪問し、市場で求められる技術水準を把握するとともに、地域の加工技術の PR により受注のきっかけづくりを行った。

◆ (株)菊池製作所(東京都)との商談会

- ・ 日時:平成 27 年 11 月 17 日(火) 10:00~16:00
- ・ 会場:燕三条地場産業振興センター リサーチコア
- ・ 参加企業:9社
- ・ 引合相談件数:9件

◆ (株)不二越(富山市)との商談会

- ・ 日時:平成 28 年 3 月 18 日(金) 10:00~17:00
- ・ 会場:不二越ものづくりセンター
- ・ 参加企業:12 社
- ・ 引合相談件数:106 件

◆ 先進的研究機関訪問による受注促進

1) 防衛省技術研究本部先進技術推進センター(東京都世田谷区)

- ・ 日時:平成 27 年 12 月 8 日(火) 14:00~16:00
- ・ 参加企業:21 社

2) 海洋研究開発機構(神奈川県横須賀市)

- ・ 日時:平成 28 年 1 月 15 日(金) 13:30~16:00
- ・ 参加企業:12 社

【H27 年度の受注斡旋実績】

(単位:件)

	受 注 斡 旋(件)				引 合 件 数 小 計	各 種 相 談
	成 約	見 積 検 討 中	対 応 企 業 紹 介	不 成 約		
H27 年度	58	74	486	23	641	150
H26 年度	59	76	504	20	659	105
H25 年度	69	40	438	12	559	117

◆ 引き合いの主な分野

①工業製品の製造対応(92 件 14.3%)、②表面処理(87 件 13.6%)、③機械加工(73 件 11.4%)

◆ 成約の主な分野

①工業製品の製造対応(13 件 22.4%)、②表面処理(10 件 17.2%)、③生活関連商品(6 件 10.3%)、④板金加工(5 件 8.6%)

【受発注打合せ件数】

(単位:件)

	地域内 (市内) 企業訪問	地域外 (県内) 企業訪問	県外企業 出張訪問	県内企業 来室 打合せ	県外企業 来室 打合せ
H27 年度	979	123	129	222	193
H26 年度	578	148	142	134	140
H25 年度	770	28	134	175	164

⑤ 「燕三条 工場の祭典」の開催

「燕三条 工場の祭典」実行委員会の主催により、各種金属製品を製造している燕三条地域の工場が製造現場を一斉に解放し、一般市民がものづくりを見学・体験できるイベントを開催した。イベントでは参加企業による工夫を凝らした演出によって工場の魅力が最大限に発揮され、日本全国のみならず、海外からの来場者もあった。

◆ 開催日:平成 27 年 10 月 1 日(木)~4 日(日)(4 日間) (H26 年度:H26.10/2~5、4 日間)

◆ 参加企業:68 社・団体(H26 年度:59 社・団体)

◆ 来場者数:19,312 人(H26 年度:12,661 人)

⑥ 地域企業と技術系展示会への共同出展による受注促進

東京と大阪で開催の加工技術の展示会へ地域企業と共同出展した。展示会では、地域の特徴的な加工技術や機械部品等を展示し、合計で 275 件の商談が行われた。

現在、試作品の評価など継続中の引合い案件が含まれるため、成約件数について出展企業からのヒアリング調査を進めている。

【展示会実績】

名称(会場)	開催期間	共同出展 (H26 参考) (H25 参考)	来場者数 (H26 参考) (H25 参考)	引合件数 (H26 参考) (H25 参考)	成約件数 (H26 参考) (H25 参考)
第 19 回機械要素技術展 (東京ビッグサイト)	H27. 6/24-26	24 社 (24) (23)	81,469 人 (80,608) (76,702)	220 件 (181) (251)	18 件 (28) (26)
第 18 回関西機械要素技術展 (インテックス大阪)	H27. 10/7-9	9社 (9) (7)	42,216 人 (36,939) (39,972)	55 件 (96) (91)	13 件 (9) (9)

※引合い件数:試作依頼、見積検討、図面照会、後日訪問相談数の合計。

(2) 海外販路開拓支援事業(担当:企業支援課)

(収入決算額:19,648,000 円、支出決算額 19,043,956 円)

① 海外展開推進会議の開催

◆第 5 回 平成 27 年 5 月 19 日(火) 14:00~16:00(委員 11 人、オブザーバ 4 人)

- ・平成 26 年度 事業報告について
- ・平成 27 年度 事業計画について
- ・ドイツ調査ミッション報告について(公開報告会:参加者 31 人)

◆第 6 回 平成 27 年 12 月 17 日(木) 14:00~16:00(委員 7 人、オブザーバ 3 人)

- ・海外展示会への出展について(MATALEX、メゾン・エ・オブジェ・パリ&アジア)
- ・海外調査ミッションについて

② 海外販路開拓に関する専門セミナー等の開催

◆ 貿易実務セミナー(日本貿易振興機構(JETRO)共催)

- ・日 時:平成 27 年 7 月 7 日(火)~8 日(水) 10:00~17:00
- ・会 場:燕三条地場産業振興センター リサーチコア 7 階 マルチメディアホール
- ・講 師:JETRO 認定貿易アドバイザー試験合格者 前田 直明 氏
- ・参加者:35 人

◆ 海外販路開拓入門セミナー

- ・テーマ:これからはじめる海外販路開拓と知っておきたい基礎知識
- ・日 時:平成 27 年 12 月 7 日(月) 13:00~18:00
- ・会 場:燕三条地場産業振興センター リサーチコア 4F 異業種交流プラザ②③
- ・講 師:中小企業基盤整備機構 シニアアドバイザー 山本 雅暁 氏
- ・参加者:22 人

③ シンガポール共同事務所の活用

日本食ブームにより新規出店が相次ぐ現地において、共同事務所の駐在員と協働して日本食レストラン、日系小売店や卸売業者などに燕三条の日用金属製品や日本酒などを提案した。

このことにより複数の日本食レストランに燕三条製品が採用された。また、店頭だけではなく、展示会の併設イベントにも燕三条製品を使っていただき、世界各国からの来場者に PR することができ、「燕三条」の認知度を高めることができた。

④ 展示会への出展

海外で開催の展示会に地域企業と共同出展し、燕三条製品の PR 及び販路開拓を行うことにより、地域企業の海外での新規顧客の獲得につながった。

◆ 「METALEX2015」(タイ・バンコク)

- ・会 期:平成 27 年 11 月 18 日(水)~21 日(土)(4日間)

- ・ 会 場:バンコク国際展示場(BITEC)
- ・ 来場者数:73,938 人(H26:76,054 人)、出展者数:2,782 社(H26:2,793 社)
- ・ 共同出展企業:2社
- ・ 引き合い件数:112 件(H26:117 件)

◆ 「メゾン・エ・オブジェ・パリ(1月展)」(フランス・パリ)

- ・ 会 期:平成 28 年1月 22 日(金)~26 日(火) (5日間)
- ・ 会 場:ノールヴィルパント見本市会場
- ・ 来場者数:76,417 人(H26:78,200 人)、出展者数:2,978 社(H26:3,194 社)
- ・ 共同出展企業:2社
- ・ 引き合い件数:285 件(H26:121 件)

◆ 「メゾン・エ・オブジェ アジア」(シンガポール)

- ・ 会 期:平成 27 年3月 8 日(火)~11 日(金) (4日間)
- ・ 会 場:マリーナベイサンズコンベンションセンター
- ・ 来場者数:7,200 人(H26:10,364 人)、出展者数:168 社(H26:274 社)
- ・ 共同出展企業:4社
- ・ 引き合い件数:190 件(H26:123 件)

⑤ 海外調査ミッション

今後の消費拡大が期待されるマレーシア市場における燕三条製品の販路開拓及び産業交流連携の可能性調査のため、日系進出企業、支援機関、ショッピングモールなどを訪問し、現地での情報収集及び意見交換等を行った。

- ◆ 日 程:平成 28 年3月 2 日(水)~6 日(日)(4泊5日)

- ◆ 訪問先:(1) UEKATSU INDUSTRY (MALAYSIA)SDN.BHD.

(2) マレーシア富士電機社

(3) DIAMET KLANG (MALAYSIA) SDN.BHD.

(4) ジェトロ・クアラルンプール事務所

(5) ロイヤル・セラングール社工場

(6) Pavilion Kuala Lumpur (パビリオン・モール)

- ◆ 参加者:7人(海外展開推進会議委員、事務局)

⑥ その他(共催事業)

- ◆ 燕三条地域貢献プロジェクト((独)日本貿易振興機構(JETRO)主催)

海外バイヤーと地域企業とのビジネスマッチングを行うため、燕市、三条市、地場産センター共催により、シンガポール及びマレーシアからバイヤー等を招へいし、企業視察及び商談会を開催した。

- ・ 日 時:平成 27 年6月 25 日(木)~27 日(土)

- ・ 会 場:燕三条地場産業振興センター他

- ・ 海外招待者:11 人

- ・ 参加企業数:27 社(商談会)

- ◆ 台湾手工具工業同業公会とのビジネスマッチング

台湾手工具工業同業公会の会員企業メンバーと燕三条地域企業とのビジネスマッチングを目的とする企業訪問を行った。

- ・ 日 程:平成 27 年4月 21 日(火)~22 日(水)

- ・ 来訪者:12 人

- ・ 訪問企業:5社

【2】企業開発力強化事業

1 収支決算額

○ 収入決算額:48,039,485円

(その他補助金収入21,029,944円、事業収入8,218,541円、市負担金収入18,791,000円)

○ 支出決算額:46,512,033円

2 事業の成果

- ◆ **産学連携共同研究開発事業:**3Dプリンター造形品への研磨、めっき等の表面処理や刃先(カッティングエッジ)の評価装置の開発など、当地域企業の技術高度化を目的に活動を進めた。6テーマの研究会を実施し、地域企業から延べ73人(69社)の参加者があり、情報や研究結果などの情報提供を行った。
- ◆ **技術開発総合支援事業:**当地域企業からの各種技術相談(知的所有権、材料、表面処理、溶接、プレス加工、生産管理など)に対し、当センター技術職員だけでなく企業OBなどの専門家と連携し課題解決を行った。
- ◆ **燕三条ものづくりメッセ開催事業:**日本海側最大級のビジネスマッチングのための展示商談会として、昨年度に引き続き「燕三条ものづくりメッセ2015」を開催した。221社・団体が出展し、来場者は5,816名、終了後の成約件数は89件あり、引き合い総数で昨年度の45%増となり、2回目として十分な成果を得ることができた。

3 実施事業

(1) 産学連携共同研究開発事業(担当:技術開発課)

(収入決算額:4,011,126円、支出決算額:4,010,675円)

① 3Dプリンター活用技術研究会

3Dプリンター造形品に対し研磨やめっきなどを適用し、表面の質感を高める技術を地域企業と共同で開発した。また、ロストワックス鑄造の消失型に3Dプリンター造形品を適用する技術を開発し、今後の実用化の見通しを得た。また、樹脂造形品をもとに金属製品を製造する技術として、ロストワックス鑄造の消失型適用における表面状態が及ぼす影響を評価し、今後の実用化の見通しを得た。

- ・ 期間(回数):平成27年4月～平成28年3月(7回実施、うち1回は先進企業見学会)
- ・ 指導者:長岡技術科学大学 機械系 准教授 南口 誠 氏
- ・ 参加者:14人(13社)

② カッティングエッジ評価技術研究会

カッティングエッジ(刃先)形状と切断メカニズムの関係について、指導者が行っている紙の切断研究で得られた知見を適用し、包丁、はさみ、ニッパーなどの切断力を定量的に評価できる装置を開発した。

- ・ 期間(回数):平成27年4月～平成28年3月(5回実施、うち1回は先進企業見学会)
- ・ 指導者:長岡技術科学大学 機械系 教授 永澤 茂 氏
- ・ 参加者:15人(13社)

③ 先進バリ取り技術研究会

バリ取り技術を当地域のコア技術に高め、バリの抑制や高品位・低コストのバリ取り技術の確立を進めている。先進企業担当者とのディスカッション及びウォータージェットを活用したバリ取り技術や総合研磨剤メーカーなどの企業見学会を通じて、バリ取り技術の理解を深めることができた。

- ・ 期間(回数):平成27年4月～平成28年3月(5回実施、うち2回は先進企業見学会)
- ・ 指導者:関西大学 名誉教授 北嶋 弘一 氏
- ・ 参加者:5人(5社)

④ 航空機産業参入研究会

航空機の整備や運行部門への参入を図るため、国内での動向について会員同士の情報共有を行った。また、指導者の企業が開発中の米国向けレジャー用航空機の製作に参画し、主翼強度評価などを行った。

- ・ 期間(回数):平成 27 年4月～平成 28 年3月(3回実施)
- ・ 指導者:(株) ATR ヤマト 代表取締役 吉田 宗玄 氏
- ・ 参加名:6人(6社)

⑤ 試作・小ロット品対応力強化プロジェクト

会員企業が新分野へ展開するため、小ロット品や試作開発品の受注を目的としたプロジェクトを進めた。本年度は「ものづくりベンチャー」をターゲットに試作・量産の提案を行い、2件の共同開発を進め、新しいものづくりの動きに対する対応力を高めることができた。

- ・ 期間(回数):平成 27 年4月～平成 28 年3月
(13 回実施、うち1回は都内のベンチャーインキュベーション施設での展示会)
- ・ 指導者:マネジメントオフィス KOBA 小林 貞夫 氏(中小企業診断士)
三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング(株) 研究員 北 洋祐 氏
- ・ 参加者:12 人(12 社)

⑥ 長岡技術科学大学との連携協議会の開催

産学官連携コーディネータによる大学と企業との連携事例の説明会を行い、個別面談も実施した。また、コーディネータによる会員企業への訪問と個別相談等を行い、各社のニーズに合わせた連携調査を進めている。更に、教員のコーディネータにより、溶接・接合技術の専門セミナーを行った。

- ・ 期間(回数):平成 27 年4月～平成 28 年3月(3回実施、内1回はオープンセミナー)
- ・ 参加者:21 人(20 社)

(2) 技術開発総合支援事業(担当:技術開発課)

(収入決算額:5,666,415 円、支出決算額:5,109,510 円)

① 知的所有権相談

特許や実用新案、意匠などの知的所有権を戦略的に活用するため、当地域の産業に精通した弁理士による月1回の個別相談会を実施した。本年度は他社からの模倣に関する対応や、海外出願に関する相談があった。

- ・ 指導者:ジーベック国際特許事務所 所長 清水 善廣 氏、弁理士 小松 悠有子 氏
- ・ 相談件数:36 件(24 社)、出願:3件(意匠、商標)

② 技術専門家派遣

地域企業からのメカニズムの設計や生産設備導入に関するポイントについての技術指導を行った。また、技術開発や工場の生産管理などの相談に対して、企業 OB などの専門家を直接企業に派遣し、課題解決に向けてのアドバイスをを行った。

- ・ 派遣回数:14 回(指導者:7 人、対象企業:10 社)

③ 職員による技術相談

企業からの表面処理、溶接の加工技術や、腐食などのトラブル相談に対して、センター技術職員が解決策を提案した。また、機器の利用方法の参考資料となる支援事例集をまとめた。

- ・ 相談件数:62 件(31 社)

④ 機器利用促進

今後導入すべき機械装置等の導入を検討するための準備会を立ち上げた。県内の各大学の若手研究者を招へいし、次年度以降に本格的に検討するための現状認識及び評価を行った。

【機械設備利用状況】

名 称	H27	H26	H25
3D測定レーザー顕微鏡	22	10	30
多関節型 3次元デジタイザー	24	24	22
蛍光X線分析装置	51	39	53
走査型電子顕微鏡	7	6	17
レーザーマーカ	36	75	134
デジタルマイクロスコープ	14	6	2
3次元デジタイジング装置	13	22	10
FEM シミュレーションシステム	1	0	0
3次元デザイン CAD システム	36	44	28
高速度デジタルビデオカメラ	14	7	5
万能塑性加工試験機	5	2	3
HIP 装置(熱間等方圧加圧装置)	62	49	85
3D プリンター	10	13	-
合 計	295	299	391

(3) 燕三条ものづくりメッセ開催事業(担当:技術開発課)

(収入決算額:38,361,994 円、支出決算額:37,391,848 円)

昨年度に引き続き、燕三条地域のものづくり企業を中心に全国各地域の企業が開発した新製品、技術、サービスなどを一堂に展示紹介する日本海側最大級の展示・商談会「燕三条ものづくりメッセ 2015」を開催した。各ブースでは県内外企業の開発・購買担当者などを相手に、合計で 2,359 件の商談が行われた。成約件数については継続的にフォローを進めている。

	開催期間	出展者数	来場者数	引合件数	成約件数
H27	10.29(木)~30(金)	221 社・団体	5,816 人	2,359 件	89 件
H26	10.1(水)~2(木)	203 社・団体	5,354 人	1,977 件	60 件

※引合件数:成約、見積り依頼、後日訪問、相談件数の合計

- ・ 招聘者:旅行会社3社3人、バイヤー1社1人、メディア1社1人

◆ シンガポールインバウンドセミナー

- ・ 期 間:平成 28 年1月 16 日(土)
- ・ 内 容:現地の業界関係者を集めて、燕三条及び南砺市の観光資源のプレゼンテーションを行った。
- ・ 来場者:77 人(62 社)

◆ シンガポールセールスコール

- ・ 期 間:平成 28 年1月 15 日(金)~17 日(日)
- ・ 内 容:シンガポールの旅行社を訪問し、燕三条及び南砺市の観光コースを提案した。
- ・ 訪問先:8社

④ ものづくり工場見学ツアーの実施

「燕三条ものづくりメッセ」来場者を対象に工場見学ツアーを催行した。

- ・ 実 施 日 :平成 27 年 10 月 29 日(木)、30 日(金)
- ・ 参加人数 :各コース定員 10 人 3 コース計 30 人
- ・ 訪問企業 : 6 社

⑤ 燕三条 Wing の活用

◆ 燕三条 Wing の状況

来館者数等

区 分	H27	H26	対 比
来館者数(人)	95,600 (7,966/月)	89,300 (7,441/月)	1.07
売上金額(千円)	70,121 (5,843/月)	60,200 (5,016/月)	1.16

◆ 観光コンシェルジュへの照会状況

平成 27 年度合計 419 件(平成 26 年度 598 件)

* 分野別対応件数

照会分野	H27	H26	照会分野	H27	H26
食	110	119	温 泉	9	13
交 通	72	102	自 然	8	19
買 物	53	96	資 料 館	6	7
待ち時間	48	71	体 験	5	10
工場見学	22	27	寺 社	4	7
まちあるき	15	13	歴 史	3	5
宿 泊	12	22	その他	52	87

* 月別対応件数

年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
H27	44	53	44	35	35	38	44	45	15	31	16	19
H26	51	61	71	44	53	56	73	60	21	30	30	48

◆ Wing イベントの開催

開催日	内 容	参加人数
4月 26 日(日)	「アーティフィシャルフラワーアクセサリー」	16 人
5月 4 日(火・祝)	「木の葉の箸置き作り」	11 人

6月14日(土)	燕三条 Wing 縁日 ※JR 燕三条駅県央祭りと併催	延べ 713 人
7月25日(土)	「木のおもちゃ作り」	20 人
8月15日(土)	「miniトレイ作り」	12 人
9月5日(土)	「ひょうたんストラップ作り」	15 人
10月24日(土)	「蒔絵体験」	16 人
11月7日(土)	「コルク人形を作ろう！！」	16 人
12月19日(土) 20日(日)	「燕三条 Wing5周年祭」	ワークショップ 84 人
1月24日(日)	「オープン粘土で作るペアマグネット」	8人
2月21日(日)	「天神講菓子絵付け体験」	15 人
3月13日(日)	「イヤークフ」制作体験	16 人

⑥ 各種プロジェクト事業の支援

1) プロダクトグループ

開発テーマを「ソムリエナイフ」とし、燕三条の技術を使い地域の歴史を込めたものとして、嗜好品、プロ用としてのアイテム開発を行った。(全体会議を全6回開催)

- ・ 開発テーマ:ソムリエナイフ、ケース、商品パッケージ
- ・ デザイン:専門学校桑沢デザイン研究所 プロダクトデザイン分野 専任講師
HONDA KEIGO+DESIGN 代表 本田圭吾 氏
- ・ モデル制作:一部機構を伴ったソムリエナイフのモックアップ 2点
ナイフのパッケージ 2点

2) レストラングループ

◆ 燕三条「畑の朝カフェ」の企画・運営

燕三条地域の多種多様な農産物を生産現場と生産者の魅力もあわせて広く知ってもらい 体験型カフェを開催した。

開催日	開催会場	参加人数	備考
5月23日(土)24日(日)	ハーベスト:燕市	16 人	ハーブサラダとガレットのクッキング体験
7月26日(日)	渡辺果樹園:三条市	24 人	土おこし、挿し木体験
9月12日(土)	岡村葡萄園:新潟市	27 人	ぶどう収穫体験
10月2日(金)*	渡辺果樹園:三条市	約 50 名	土に触れる体験
10月3日(土)4日(日)*	ハーベスト:燕市	32 名	ハーブサラダとガレットのクッキング体験
10月18日(日)	睦農園:三条市	20 名	さつまいも掘り体験
2月28日(日)	内山農園:三条市	20 名	蕪や小松菜などの野菜と苺の収穫体験

※10月2日～4日は「燕三条 工場の祭典」併設イベントとして開催

◆ 「全国産業観光フォーラム in 燕三条」エクスカッションにて、燕三条「畑の朝カフェ」の取組についてプレゼンを行い、体験版を実施した。

- ・ 実施日:平成 27 年 10 月 2 日(金)
- ・ 会 場:渡辺果樹園(30 人)、内山農園(20 人)

◆ 燕三条「畑の朝カフェ」の活動を伝えるブックレットを作成した。

3) ツーリズムグループ

◆ 燕三条まちあるき事業

地元ナビゲータと一緒に「燕三条」の魅力に触れる「燕三条まちあるき」の主催団体としてコース企画の取りまとめなど、イベント運営の総括を行った。

《2015 春》

- ・ 開催期間:平成 27 年4月 11 日(土)~5月 31 日(日)
- ・ コース数:21 コース
- ・ 参加延人数:301 人

《2015 秋》

- ・ 開催期間:平成 27 年 10 月4日(土)~11 月 21 日(土)
- ・ コース数:19 コース
- ・ 参加延人数:167 人

◆ 燕三条グリーンツーリズム事業の推進

燕三条エリアで自然体験等の活動に取り組んでいる団体のイベントを取りまとめたパンレットを作成し、地域の小学校全児童(36 校 9,133 人)に配布するなど情報発信を行った。

18 団体、45 イベント、20,000 部(H26:19 団体、39 イベント、20,000 部)

4) プロモーショングループ

◆ ブランキンアート展 2015 の企画・運営

- ・ 出品数 18 作品
- ・ 会 場:燕三条 Wing、リサーチコア3F デザインギャラリー
- ・ 期 間:平成 27 年9月 1 日(火)~11 月 30 日(月)
- ・ 来場者:延べ約 3,000 人(うち、スタンプラリー参加者 238 人)
- ・ その他:ブランキンアート 2014 の巡回展

(株)諏訪田製作所:4月 8 日(水)~7月 14 日(火)

峰村醸造、古町糰製造所蔵座敷店、今代司酒造(新潟市)

:7月 17 日(金)~9月 14 日(月)

燕市産業史料館:12 月 4 日(金)~平成 28 年3月 31 日(木)

◆ 「燕三条こうばのじてん第2版」発刊 2,000 部作成

5) 「アンビエンテ 2016」への出展

ドイツ、フランクフルトで開催される世界最大の消費財見本市に、燕三条が誇る高品質で高機能、デザインに優れた商品の展示・PRを行った。

- ・ 会 期:2016 年2月 12 日(金)~16 日(火)
- ・ 出展者:23 社(うち公募4社)
- ・ 実 績:商談件数 276件(成約2件、成約見込数 12 件、商談継続 20 件)

合計受注額 36,100 千円(3月末現在の見込額)

(2) 燕三条ブランド強化事業

(収入決算額:9,411,000 円、支出決算額:9,410,124 円)

① 欧州マーケットに向けたブランド力強化

欧州のライフスタイル・ニーズに対応した商品開発を行うため、ドイツ在住のコーディネータによる商品開発ワークショップを実施した。

- ・ 実施日:全6回
- ・ アドバイザー:(株)SATOMI SUZUKI TOKYO 代表取締役社長 鈴木 里美 氏
- ・ 参加企業:2社

② 地域資源を活用した商品開発の実施

地域に精通したコーディネータ、シェフ、デザイナーと地域企業によるプロジェクトを立ち上げ、開発ワークショップを開催した。

- ・ワークショップ開催:7回
- ・参加企業:5社
- ・成果:開発品の内4点が商品化。

(内1点は「ニイガタ IDS デザインコンペティション 2016」IDS 準大賞、「ジャパン・ツバメ・インダストリアルデザインコンクール」協会奨励賞を受賞)

③ 国内・海外デザイン賞取得支援

1) デザイン賞応募説明会の開催

グッドデザイン賞及び世界的に評価の高い「iF デザイン賞」や「アジアデザイン賞」の概要、申請方法等を紹介する応募説明会を開催した。

- ・開催日:平成 27 年5月 13 日(水)
- ・説明:公益財団法人日本デザイン振興会 川口 真沙美 氏(グッドデザイン賞)
iF デザイン賞、アジアデザイン賞 日本事務局 高田 昭代 氏
- ・特別講演:㈱インターオフィス 取締役 寺田 尚樹 氏
- ・参加者:24 人
- ・結果:グッドデザイン賞(日本)、13 アイテム(6社)
iF デザイン賞(ドイツ)、2アイテム(2社)

2) グッドデザイン賞二次審査会の開催(地方開催)

- ・平成 27 年7月 31 日(金)

3) グッドデザイン賞受賞イベントの開催

- ・開催日:平成 27 年 12 月 24 日(木)
- ・特別講演:Design Studio S 代表 柴田 文江 氏(2015 年度 審査副委員長)
- ・参加者:36 人

④ 商品企画・デザイン個別相談の実施

- ◆ 相談件数:15 件、30 回(14 社)

⑤ 燕三条ブランド推進会議等の開催

- ◆ 燕三条ブランド推進会議(1回)
- ◆ コーディネータ・事務局会議(2回)
- ◆ プライドプロジェクト会議 開催回数

グループ名(人数)	会議等(回)
プロダクト (20)	5
レストラン (15)	16
ツーリズム (23)	15
プロモーション (11) + JR 燕三条駅 Pro (3)	4
合計 (72)	40

⑥ デザインギャラリーの運用

- ◆ リ・デザインエキシビション 2015 入賞作品の展示
- ◆ 海外販路開拓に取り組んでいる商品を展示
- ◆ 燕三条地域の 2015 年度グッドデザイン賞受賞商品の展示

⑦ デザインギャラリー企画展の開催

「ものづくりのまち」燕三条の発展に寄与していると考えられるデザインの源流の一端を紹介すべく、当地に縁の深い二人のデザイナーにスポットを当てた企画展を開催した。

- ・ 展示会名:燕三条・デザインのDNA「亀倉雄策と小杉二郎」展
- ・ 会 期:9月 25 日(金)～10 月 12 日(月・祝)
- ・ 来場者数:1,819 人

⑧ 地域デザイン団体活動支援

- ◆ 燕三条デザイン研究会(会員:66 人、全体例会4回、グループ例会 19 回)
- ◆ つばめデザイン研究会(会員:7人、全体例会2回)

【4】企業人材育成事業

1 収支決算額

- 収入決算額:12,580,326円
(事業収入4,098,326円、市負担金8,482,000円)
- 支出決算額:11,840,629円

2 事業の成果

- ◆ **燕三条ものづくり大学事業(技術研修)**:当地域企業の製造及び開発現場での技術力向上を目的に、設計・製図や金属材料などの技術基礎講座、各専門分野に特化した集中講座、技術マネジメント講座などを、地域の各支援機関と連携しながら実施した。基礎技術講座を中心に募集定員を上回る参加者があり、各企業の技術者養成ニーズに対応した。
- ◆ **経営力強化支援事業**:地域企業の営業力向上、IT を活用した業務の効率化を促進するため、セミナーや専門家派遣事業を実施した。セミナーでは戦略的な営業活動を行うためのプランニングやオフィスソフトの活用、ネットショップ向け撮影技術を学ぶ講座を開講した。

3 実施事業

(1) 燕三条ものづくり大学事業(技術研修)(担当:技術開発課)

(収入決算額:3,514,000円、支出決算額:2,774,370円)

地域企業の製造・開発部門で必要な金属材料、図面の見方などの基礎技術、並びに溶接、プレス加工などの専門技術の講習会を開催した。

研修講座名	期間(時間×回数)	募集(人)	実績(人)
①金属材料基礎講座	H27.5/16～8/4 (2h×12回)	20	18
②図面の見方・描き方入門講座	H27.8/16～9/18 (2h×9回)	20	28
③製造現場に必要な数学・物理・化学の基礎講座	H27.6/17～7/15 (2h×5回)	15	18
④溶接技術集中講座	H27.7/6～7/7 (3h×3回)	20	24
⑤プレス加工集中講座	H27.11/5～11/26 (3h×4回)	15	19
⑥表面処理集中講座	H28.1/14～1/28 (3h×3回)	15	30
⑦熱処理技術集中講座	H27.10/2～10/15 (3h×3回)	15	16
⑧精密板金設計と加工の要点集中講座	H27.11/28 (7h×1回)	20	11
⑨知財活用技術講座	H28.2/9～2/23 (2.5h×3回)	10	13
⑩課題解決力強化講習会	H27.6/10～9/10 (3h×8回)	10	5
⑪タグチメソッド活用講座	H27.8/4～12/5 (2h×5回)	10	10
⑫テクニカルプレゼンテーション力強化講座	H27.11/6～11/20 (3h×3回)	10	14
⑬新技術・新材料活用セミナー	H27.8/28～12月 (2h×5回)	10	21

(2) 経営力強化支援事業(担当:企業支援課)

(収入決算額:9,066,326円、支出決算額:9,066,259円)

- ① 企業向け情報・経営研修会の開催

IT の活用による業務の効率化と自社商品の販売促進、十分なマーケティングによる営業力の強化方法を学ぶ講座を開講した。

研修講座名	期間(時間×回数)	募集(人)	実績(人)
エクセル活用講座①	H27.5/19～6/2 (2h×5回)	10	9
エクセル活用講座②	H27.11/6～11/19 (2h×5回)	10	7
Windows ネットワークの基礎講座	H27.10/20～11/5 (2h×3回)	10	8
ネット販売のための商品撮影講座	H27.10/21～10/23 (2h×3回)	10	10
営業力強化セミナー	H27.6/11～7/9 (2h×3回)	15	15

② 経営力強化のための個別相談事業

地域企業が抱える経営上の課題や IT を活用した社内事務作業の効率化、WEB 上での販売促進などについて、専門家を直接企業へ派遣し課題解決へのアドバイスをを行った。

- ・ 相談件数:11 件(7社)、派遣指導者:6人

③ 新事業創出プロジェクト

地域企業からの生産性向上、販売力の強化、海外販路開拓に関する相談を受け、ものづくり・商業・サービス革新補助金の申請アドバイス、中小企業基盤整備機構のアドバイザーなどを活用しながら事業の方向付けを行った。

④ 広報活動の強化

最新の企業支援情報をホームページ及びメールマガジン(月 2 回)で発信したほか、産業振興部事業の PR とリサーチコアの利用促進のためリサーチコアレポートを発行した。

◆ ビジネス情報の提供

センターHP に企業向け支援情報、イベント、セミナー等のビジネス情報やセンター主催事業の年間スケジュールを掲載した。

- ・ ビジネス情報掲載件数:328 件

◆ メールマガジンの発行

- ・ 毎月 2 回(年間 24 回)配信
- ・ 掲載情報件数:255 件
- ・ メールマガ配信登録者数:705 件

◆ 広報誌「リサーチコアレポート」の発行(3回)

第8号(9月)、第9号(12月)、第10号(3月)

⑤ホームページ・フリースポットの管理・運営

海外へ燕三条地域の魅力を発信して誘客やビジネスに繋げるため、外国語ホームページ(英語、中国語)を公開した。ホームページには燕三条の物産観光情報やビジネス情報を掲載し、今後は内容を随時更新しながら海外展示会などでも積極的に PR を図りページビューの増加に努める。

また、平成 26 年度に新ホームページ移行後、月間平均閲覧数が更新前の3倍となった。

⑥情報関連機器の維持管理他

各種サーバやIT機器のメンテナンスとバックアップの実施

情報研修室 OA 機器、研修用 DVD の貸出し

貸出機器名	貸出件数	利用料金	備考
パソコン	4件	140,326 円	情報研修室、貸出し用 PC
研修用 DVD	19 件(50 本)	無料	

【5】需要開拓事業

1 収支決算額

- 収入決算額:453,792,459円
(事業収入422,792,459円、市補助金31,000,000円)
- 支出決算額:376,748,229円

2 事業の成果

◆ **展示・即売事業:** 物産館では商品陳列什器の入替えに伴うリニューアルを行い、消費者ニーズに合わせた話題性のある販売品目の拡充を行った。またイベントの開催や関係団体と連携した事業への参加を通して、県内外の消費者に燕三条製品の良さをPRし、製品の販路拡大に努め、誘客宣伝活動と産業観光を推進し、観光及び視察来館者に対し「ものづくりのまち燕三条」のPRを行った。

一方、団体バスでの来館は減少傾向にあるが、道の駅燕三条地場産センターの整備や、シニア層を中心とした個人、グループ客及びインバウンド観光の推進により外国人を含む来館者が増え、燕製品販売促進事業を活用したふるさと割の効果もあり、売上が増加した。

◆ **燕三条駅観光物産センター事業:** 利用客の中心となるビジネス客に対して無線LANやパソコン等機器利用などの利便性の向上等の効果により、来場者数はJR利用者を中心に増加した。

燕三条地域が多数のメディアに取り上げられ、それに加えて観光雑誌等に店舗広告を掲載した結果、ものづくりのまちであることへの認識が向上し、更に燕製品販売促進事業を活用したふるさと割の効果もあり、燕三条製品を買い求める来館者がり売上が増加した。

3 実施事業

(1) 展示・即売事業

(収入決算額:387,224,328円、支出決算額310,220,573円)

① 収入実績

- ・ 展示出品収入: 6,959,400円(6,956,200円)
- ・ 販売売上収入:338,279,179円(284,119,855円)
- ・ 外商販売収入: 25,016,296円(18,665,418円)

※ ()内はH26

② 自主イベント等の内容

イベント名称	開催期間	来場者数
GWフェア	H27.4.29～5.6:8日間 (H26.4.26～5.6:11日間)	約14,630人 (約12,600人)
お盆フェア	H27.8.13～16:4日間 (H26.8.13～17:5日間)	約9,590人 (約12,700人)
年末刃物フェア	H27.12.11～13:3日間 (H26.12.12～14:日間)	約15,000人 (約5,700人)
観光バス来館	通年	約873台 (約982台)

※ ()内はH26

③ 外国人来館者実績

来館者数	売上金額	免税件数	免税対象売上金額
1,170名	9,063,412円	257件	6,737,007円

(2) 燕三条駅観光物産センター事業

(事業収入:66,568,131 円、支出決算額:66,527,656 円)

① 収入実績

- ・ 展示出品収入: 2,508,000 円(2,508,000 円)
- ・ 販売売上収入: 70,121,309 円(60,200,123 円)
- ・ 外商販売収入: 602,806 円(531,178 円)

※ ()内は H26

② 自主イベント等の内容

イベント名称	開催期間	来場者数
GW フェア	H27.5.2~6:5日間 (H26.5.3~6:4日間)	約 2,240 人 (約 1,666 人)
お盆フェア	H27.8.13~16:4日間 (H26.8.13~17:5 日間)	約 2,120 人 (約 2,122 人)

※ ()内は H26

③ 外国人来館者実績

来館者数	売上金額	免税件数	免税対象売上金額
521 名	2,161,453 円	66 件	1,151,259 円

【6】収益事業

1 収支決算額

- 収入決算額:128, 218, 707円
 (事業収入124, 673, 127円 市補助金78, 500円 市負担金3, 000, 000円
 繰越金:467, 080円)
- 支出決算額:90, 287, 856円

2 事業の成果

- ◆ **他地域連携販売事業:**刃物に関する多彩なイベントを併設した刃物フェアを開催し、燕三条製品のPRと販売の拡大を行った。また、県内特産品の販売も併せて行い観光施設のイメージアップを図り多くの来館を促した。
- ◆ **貸館事業:**新規利用者獲得のためのDM発送と広告掲載を行なうとともに、ご利用いただくお客様とコミュニケーションをとり、気持ちよくご利用いただけるように心がけた。また、利用者との打合せを密にとりイベントの成功を支援し、急な要望にも早急に対応することにより満足いただけるサービスを提供するように努めた。
- ◆ **レストラン運営事業:**地場食材や地場製品のテーブルウェアを使い食事を愉しんでもらう場を提供した。レストラン売上は、ランチタイム、カフェタイム、貸切パーティと全て、前年より増額であったが、団体昼食の受け入れ制限と、多目的ホールでの大規模パーティがなかったことで、減収分に及ばなかった。

3 実施事業

(1) 他地域連携販売事業

(収入決算額 13,465,293 円、支出決算額 11,559,478 円)

地域外取扱商品販売金額 9,240,737 円(9,811,963 円)
 他地場産センター商品販売金額 3,017,366 円(2,525,051 円)

※ ()内は H26

(2) 貸館事業

(収入決算額 64,794,182 円、支出決算額 17,185,169 円)

- ◆ 施設利用者数: 191,315 名(前年度 218,594 名)
- ◆ 施設利用状況(金額・利用率)

施設名	H27	H26
メッセピア	45,751,457 円	51,482,776 円
1F:多目的大ホール	32.2%	32.5%
3F:中会議室	33.4%	39.0%
4F:大会議室	33.1%	38.5%
4F:特別会議室	4.4%	5.3%
4F:小会議室(和室)	22.9%	28.7%
5F:総合研修室	39.6%	42.2%
5F:ミーティングルーム	43.1%	46.7%
リサーチコア	15,187,645 円	15,718,875 円
6F:研修室	27.3%	26.8%
7F:マルチメディアホール	28.2%	27.8%

(3) レストラン運営事業

(収入決算額 49,959,232 円、支出決算額 61,543,209 円)

【レストラン収入決算額の推移】

年度	収入決算額
H27	49,959,232 円
H26	52,669,470 円
H25	55,878,977 円

附属明細書

平成27年度事業報告には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」に規定する附属明細書「事業報告書内容を補足する重要な事項」に該当の事項はありません。